

(1) 年 教科【 国語 】

使用教科書	伝え合う言葉 中学国語1	
学習の目標 ・ねらい	・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養う。	
年間の 授業内容	前期	4月 「ふしぎ」 「桜蝶」 お気に入りの一品を紹介する 言葉の単位
		5月 「自分の脳を知っていますか」 資料から得た根拠をもとに意見文を書く 漢字の部首
		【ここまで前期中間範囲】
		6月 日本語の音声 内容を整理して説明する 「ベンチ」 「河童と蛙」
		7月 「全ては編集されている」 画数と活字の字体 材料を整理して案内文を書く
	【ここまで前期期末範囲】	
	後期	9月 「持続可能な未来を創るために」 「森には魔法つかいがいる」 文の成分
		10月 根拠を明確にして書く 広告の情報を考える 昔話と古典 物語の始まり 故事成語
		11月 「蜘蛛の糸」 「オツベルと象」 随筆を書く
		【ここまで後期中間範囲】
12月 日本語の文字 「子どもの権利」 調べた内容を聞く 漢字の音と訓 書写		
1月 「言葉がつなぐ世界遺産」 読み手を意識して報告文を整える		
2月 単語のいろいろ 「少年の日の思い出」		
【ここまで後期期末範囲】		
3月 四季の詩 発言を結びつけて話し合う 熟語の構成 方言と共通語		
特色ある 学習など	(授業形態や副教材、および利用する機器など) グループ学習	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に国語の学習に取り組むことができたか。(主体的に学習に取り組む態度) ・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討できたか。(思考・判断・表現) ・相手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方を確かめて文章を整えることができたか。(思考・判断・表現) ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができたか。(思考・判断・表現) ・言葉の特徴や使い方に関する事項を身につけることができたか。(知識・技能) 	
評価の方法	定期テストや漢字テストの内容、ワーク、プリントなど提出物の内容や提出率、授業態度、発表の内容などで総合的に評価する。	
注意事項	特になし	

